

## 空き家を活用した地域おこし



岡田 大介 (おかだ だいすけ)

千葉県千葉市出身。四国学院大学卒業後、サッカー選手として高知ユナイテッドSCに2年間在籍。その後兵庫県淡路島のチーム、そして現在の十勝スカイアースへ移籍。社会人サッカークラブに所属しながら、2024年10月、幕別町地域おこし協力隊に着任。

### 【北海道へ移住】

私は幼少期からサッカー選手を目指しサッカー中心の生活を送ってきました。高校までは出身地である千葉県で過ごし、香川県にある四国学院大学へ進学した後、サッカー選手として高知ユナイテッドSCに2年間在籍し、そして兵庫県淡路島のチームへ移籍しました。移籍から1年半が過ぎた8月ごろに現在所属している十勝スカイアースからオファーをいただき、この移籍をきっかけに北海道へ移住することとなります。地域おこし協力隊の活動についてはクラブを通じて知りました。地方を転々としながら地域に溶け込むことには慣れていましたし、業務を通して地域の活性化に携われることに魅力を感じて応募したことが、幕別町地域おこし協力隊となった経緯です。

### 【地域おこし協力隊としての活動】

現在、幕別町には3名の地域おこし協力隊がいます。私の主な活動は町内の空き施設・空き家の増加を抑制し、地域の活性化を進めることです。当初は元理容室を改修した施設“幕理”で空き施設サポートセンターの運営を開始し、一年半で70件以上の相談を受け、そのうち11件が再生、活用に至りました。こうしてエリアに出来上がった点を面にし、さらに賑わいを創出するために、令和6年3月、元学習塾を改修した施設“幕練”に空き施設サポートセンターを移転しました。幕練の運営時間は、平日の13時～17時で、空き家に関する相談を受けるほか、町のインフォメーションスペースや、空き家から発生する使用可能な残置物をストックし、必要とする人に無償で提供する『マクベツジュンカン』というスペースの複合施設となっています。このような複合施設にリニューアルしたことにより、空き家相談だけではなく、地域課題の相談やときには世間話など、さまざまな目的で利用され、これまで町内外から200名以上の方が幕練にお越しいただいて地域コミュニティの役割を担っております。

まだ、空き施設の再生・活用に関しては成果として出せていませんが、空き家の所有者に対してアプローチしたい思いがあったので「空き家コンサルタント」という資格を取得し、ワンストップで空き家相談を受けられるようにしています。空き家の相談は誰に頼ればいいのか分からない場合が多いので、そんな不安が出たときに私が窓口となり、さまざまな専門分野の方へ繋ぎ、活用に向けて一緒に解決することを目指して活動をしています。

また、自分のスキルや経験を活かして、運動指導や町内高校の講師など教育関係にも携わっています。幕練で相談を受けた地域課題のなかで、公共交通機関での移動が難しい地域では、子どもの数が少ないために運動する機会が極端に少ないという相談を受けました。私は現役スポーツ選手として運動する機会を子どもたちに与えたいという思いから地域の方と協議し定

期的に小学校へ出向き運動指導を行っています。

町内の高校では、「幕別清陵高校マイプロジェクト」という授業の一環として地元企業や事業者の方を講師に招き、授業を行うというプログラムがあり、私も講師として地域連携・町の活性化をテーマに地域と高校生を繋ぐ役割を担っています。高校生が幕別町に対して、何ができるか、何をやりたいかを考えてもらい、企画から実行まで行うことがゴールとなります。



運動レクリエーション「ボール送り大作戦」

このような活動を通じ幕別町をより深く知り、関わることで若者が住み続けたいというきっかけのひとつになればと思いますし、幕別町のために働きたいという想いを持つ生徒もいるので、私自身とてもやりがいを感じています。

そのほかの活動の一つとして、町民主体のイベントの発信や実際に空き施設を活用し事業を営んでいる方へ取材を行い、マガジンとして発行しています。そしてより多くの方に周知してもらおう取り組みを行っています。

### 【先輩隊員からの貴重な教え】

幕別町に来てよかったことは景色、空気、人、食といくつもありますが、一番は着任し空き家の知識も経験もまったくないなか、一級建築士の資格を持つ同じ空き家担当の谷保隊員がいたことでスムーズに業務にも地域にも溶け込めたことです。

谷保隊員が幕別町の地域おこし協力隊に着任してから3年間で15件以上の空き施設再生に貢献した実績や、専門知識を教えてもらいながら仕事ができる貴重な経験をさせてもらっていると改めて感じます。

### 【負のイメージから解決へ】

空き家はどうしても負のイメージがありますが、可能性は多く秘めていると思います。今まで寂しそうに佇んでいた空き家が再生され、明るくなる姿はとてうれしい瞬間です。正しく管理を行い、空き家になる前に活用を考えることで、空き家の増加は抑制され町の活性化に繋がると思います。

引き続き幕練で空き家相談を受けながら活用に向けて取り組むことはもちろん、町内の空き家を数値化、データ化を行うことや空き家バンクの利用率を上げていきたいと思っています。

負のイメージを払拭し、“幕練”通じて地域と密に関わり、相談者の解決に向けて貢献していきたいです。そして建築の専門知識を有している谷保隊員と共に幕別町の空き家再生をさらに加速させていきたいと思っています。